

容器と車で明るいまちに

ごみ容器(ポリバケツ)による

定時収集を行ないます

最近、大館市でも人口の増加と生活水準の向上によって、日常生活から排出されるゴミの量は著しく増大しております。現在、市には5台のゴミ収集車がありますが、この5台の車で1日20台分、およそ20トンのゴミが毎日のようにこび出されており、収集車がこのようにフルに活動しても、ふえるゴミには追いつけない状態になっております。

したがって、このようなゴミ収集車の限界と、作業員が直接ゴミ箱の汚物に手をふれてかき出す非衛生的な作業、ゴミ箱の道路常置による都市美観の損傷などの問題を解消するために考えられたのがポリバケツによる定時収集の方法です。

このポリバケツの定時収集とは、あらかじめ、各家庭に用意してあるポリエチレン製のゴミ容器(ポリバケツ)のゴミをゴミ収集車が日と時間をきめてあつめにあるく仕組です。

この場合収集車は各家庭をまわってあつめることは要易でないで、町内に一定の場所を指定し、この場所に、各家庭ではゴミの入ったポリバケツをはこんでおいでくださればゴミは作業員の手で車に納められます。また空になったポリバケツはご手数でも各家庭までお持ち帰りいただくことになっております。

ポリバケツは各家庭で買っていただくことになっていますが、買う場合はできるだけ統一したものを備えていただくとともに、なるべく軽いもので汚水などが



もれず、積み残りのしない容器が良いと思いますので、市としては写真のようなフタ付きのポリエチレン製のものを買っていただくようお願いしています。(1ケ千円程度)

このポリバケツによるゴミの収集は4月から行ないますが、さしあたり一丁目町内から順次におこない、年度内には旧市内全部をこのポリバケツ方式に切替

る予定です。切替と同時に現在各所にあるゴミ箱はとりこわしていただくことになります。この方法を用いることによって、作業のスピード化はもちろん、きたないゴミ箱はまちから姿を消し、カヤハエの発生場所も少なくなりますので、健康で文化的な都市づくりを築くためには最も良い方法だと思います、市民の皆さんのご協力をお願いします。

国民健康保険

助産費 葬祭費が4月1日から 支給されます

大館市の国民健康保険に加入している人で昭和40年4月1日以降に出産した場合には、出産者または世帯主に対して2,000円の助産費を支給します。

また、死亡した場合には、その者の葬祭を行なう者に対して2,000円の葬祭費を支給することになりましたので該当者は市役所で給付の手続きをしてください。

なお、出産の場合、妊娠4ヶ月以上であれば死産、流産、早産でも支給されます。

『知事の面会日』が設定されました

県政に対する意見や要望について、知事が直接に一般県民と面会して話し合う「知事の面会日」が設けられました。

これは、県民の声を積極的に県政に反映させる目的で、この4月から次の要領で実施しておりますのでご利用願います

- (イ) 面会日は毎月第一月曜日、午前10時30分から正午まで
- (ロ) 面会の場所は県民ホール相談室
- (ハ) 面会は個人に限り、面会時間はひとり10分以内です。
- (ニ) 面会の内容は県政に関する意見、要望、苦情、相談などです。
- (ホ) 面会希望者の受付は県民ホールで当日の午前9時から10時30分まで。

(ヘ) 遠隔地の方で面会を希望する方は、あらかじめ郵便などで面会日の前日まで届くように申しこんでください。

- ①面会申し込み者が多数の場合は、よく月の面会日になることもあります
- ②申し込み書には面談の内容要旨と面会希望時間などを明記してください

申し込みのあて先

秋田市山王4丁目1番1号

秋田県総務部、文書広報課長

電話、秋田(3)1111

内線 642

4月は去る5日に行ないましたが、5月の面会日は、5月4日になっておりますのでご利用ください。